

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

803-690

事務事業名	教育委員会運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	1	1	10		4,790
政策	9 市民と共に進める行政経営					1	10	1	1	10	1	438
施策	93 良質な行政サービスの提供					1	10	1	1	10	2	3,892
						1	10	1	1	10	3	400
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	教育行政		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	適切な方針のもとで取り組まれる		18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度
		23目標	23実績			
		18目標	最終目標			
		18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度	
		23目標	23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	教育委員会の運営 <参考> 細々目名:教育委員会費、教育委員報酬費、交際費 飯田市の教育行政の基本方針の決定、教育関係職員の人事の決定、教育課題の把握、協議及び方針の決定、小・中学校の教育的な指導 具体的な活動内容 定例会及び臨時会の開催 市内小・中学校、教育委員会出先機関の訪問 他の自治体の教育委員会との連絡調整、情報の共有及び連携	18年度の実績 定例教育委員会12回、臨時教育委員会2回開催 市内小学校19校、中学校10校の訪問 校長会5回、教頭会5回開催 主幹教育支援主事学校訪問同行 飯伊市町村教育委員会連絡協議会、長野県市町村教育委員会連絡協議会、長野県都市教育委員会連絡協議会、三遠南信教育サミット等に参加	教育委員会開催 市内小学校19校及び中学校10校の訪問 校長会開催 教頭会開催 主幹教育支援主事学校訪問同行	14 1 5 5 1
	19年度計画 同上	教育委員会開催 市内小学校19校及び中学校10校の訪問 校長会開催 教頭会開催 主幹教育支援主事学校訪問同行		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	4,866	4,790
	事業費計(A)	4,866	4,790
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 500
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	1,788
	トータルコストA+B	6,654	6,578

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所が行うサービスが的確に提供される。	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合	現状値	61.5	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価)	結びつく	(その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価)	余地がある	(その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)		有効性 評価	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価)	影響あり	(その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価)	必要性がない	(その理由)			他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価)	類似事業なし	(類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価)	必要ある	(その理由)		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価)	不可能	(その理由)
				公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価)	妥当である	(受益者とその理由)		

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	